



本田理沙子さん

石川県出身。就職活動中は苦勞の連続だったが、「ふらりと立ち寄った着物販売店(株式会社いつ和)で素敵な着物姿の女性を見て、「着物って良いな」と思って」入社。現在、金沢フォーラス店長。

心理学の学びを活かして、
職場や売上に貢献。
期待に応えていきたい。

仁愛大学同窓会『世灯会』がお届けする「卒業生ダイアログ」。今回は、着物販売店の店長として奮闘する本田さんに、心理学の面白さや仕事での活かし方をお聞きしました。

— 仁愛大学の心理学科を選んだ理由は？

もともと心理学に興味があり、オープンキャンパスでの見学や体験が楽しくて、こんな面白いことを学べるならと決めました。

— 学んで印象に残っていることは？

授業で聞いた「目に見えるものが正しいとは限らない」「見えている世界は数秒前の世界」という話は一見、非現実的なゲームのようですが、事実として起きていると思うと、不思議な感じがしたのを覚えています。また、習ったことを自分の行動と照らし合わせ、言われてみるとそうだなあ…と思うことがたくさんありました。

— 大変だったことは？

心理学は文系ですが、様々な知識も必要で、特に統計学や生物学などの理系の勉強も頑張りました。また、就職活動は不安なことばかりでしたが、キャリア支援センターの皆さんのサポートがとても心強く、無事に内定を得ることができました。

— 大学での学びは、仕事でどのように役立ち、活かされている？

「見せたい物は、その人の目線に置く」という“お客様心理”を意識できることです。

入社当初、前方に振袖、奥に和装小物が陳列されていました。お客様からのリクエストで和装小物を前に出したところ、在庫

がなくなるほどの売れ行き！まさに“お客様心理”と、見せたい人の目線がうまくかみ合った結果だと思えます。

また、視線や所作などのちょっとした行動にも常に注目して、その意味を考えることもしています。

— やりがいはどんな時に感じる？

着物は、高価で手間もかかり、毎日着ない“高級嗜好品”です。だからこそ、それを購入いただいたお客様の「ありがとう」は、信頼や期待に応えられたのだと実感でき、やりがいを感じます。

— 今後の目標は？

お客様の期待に応え、会社や社会に貢献しながら、人間としてステップアップしていきたいです。そして、店長として部下がやりがいを発見できるよう手助けできる存在になることを目指しています。

— 後輩に伝えたいことは？

入学したら心理学の基礎を学びますが、どれも社会人になってから役に立つことばかりです。心理学を学ぶと「自分や人の心がこんなふうになるよ」と披露することも面白いと思います。仁愛大学には心理学のスペシャリストがたくさんいるので、ぜひ色々なことを身につけて下さい。

社会人になるまでは着物とは縁遠かった本田さん。「着物離れ」と言われますが、着物好きの若い方も多くいらっしゃいます。正装以外であれば、いろいろとアレンジもできるので、もっと多くの方に着物の楽しさを知ってほしいです。」



資格取得奨励金制度がはじまりました！

仁愛大学同窓会では、キャリア支援の一環として、卒業後に資格を取得した卒業生の方へ奨励金を支給いたします！資格取得後には、ぜひ申請してください。



URALA STYLEに載りませんか！

仁愛大学同窓会では、年に数回、卒業生のインタビュー記事を掲載しています。卒業生の皆様の中で、取材・撮影に協力いただける方を募集しています。



『Instagram』にて最新情報発信中!!

世灯会からのお知らせや最新情報を発信しています。

https://www.instagram.com/setoukai_jindai/a



仁愛大学同窓会 LINE友だち募集中

イベントや、最新情報をお届けします。

<https://lin.ee/7ts5QCN>



〒915-8586 福井県越前市大手町3-1-1

仁愛大学同窓会「世灯会」事務局

E-mail dosokai@jindai.ac.jp www.jindai-dousoukai.jp/